

プログラミング教室のテクノロ



# プログラミングの 世界の歩き方

## 「メタバース②」



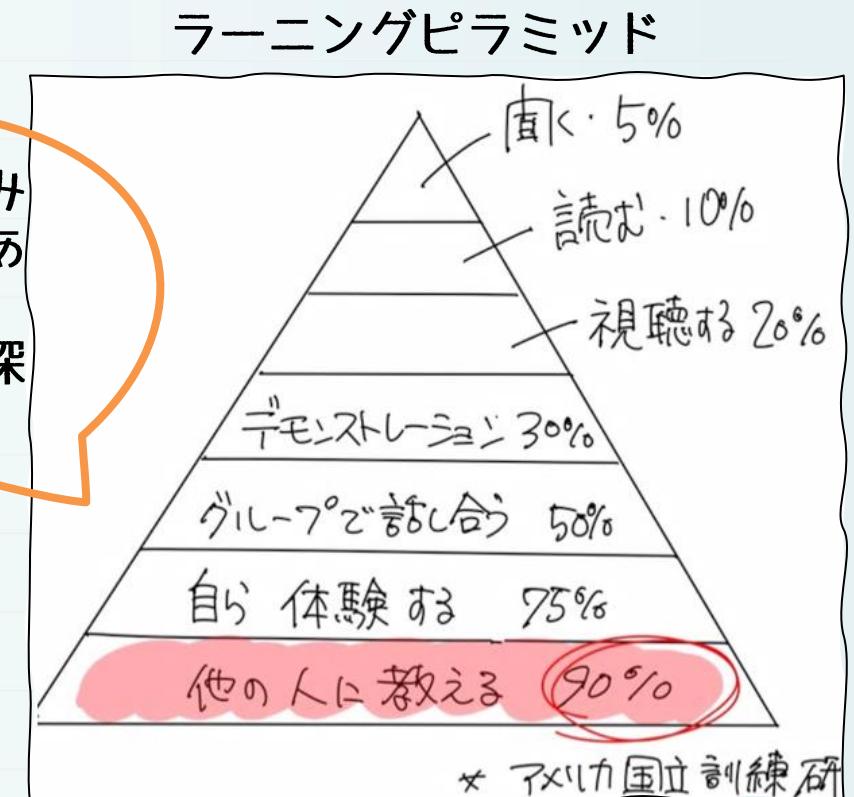
# プログラミングの世界を歩こう！

プログラミングの世界を知るにはその世界で使われていることばを知ることが大切だ。

これはプログラミングに限らず、スポーツでも音楽でも何かを習得するには、その世界のことばを知ることから始まるよ。



学んだことはみんなに教えてあげよう！  
もっと理解が深まるよ！



# メタバース(Metaverse)のおさらい

メタバース (Metaverse) とは「meta (超越した)」と「universe (世界)」の合成語。インターネット上に構築される仮想の三次元空間のことで利用者はアバターと呼ばれる分身を操作して仮想空間内を移動し、他の参加者と交流することができる。



SF小説『スノウ・クラッシュ』の中で、人間がアバターという分身に化けてネット上に構築された仮想空間でさまざまなやりとりをする、そういうことを「Meta」「Universe」から合成して「Metaverse」と呼んだことが始まりとされている。

# メタバースの特徴



メタバース、またブロックチェーン技術を用いたメタバースには、次のような特徴がある。

- ・国や土地柄などの外的要因に囚われない
- ・非日常的な体験ができる
- ・NFTの土地やアイテムなどを売買できる

## 国や土地柄などの外的要因に囚われない

メタバースには現実世界のような国境がないので、世界各国のユーザーが同一の空間にいつでもアクセスすることができる。

また資本力やプレイできる時間など個人的な要因で差が生まれることはあるが、現実世界のように国の物価や土地柄、政治など、外的な要因で格差が生まれることはない。

世界中のユーザーが同じ条件のもとで、自由に交流や経済活動などを楽しむことができる。

# メタバースの特徴



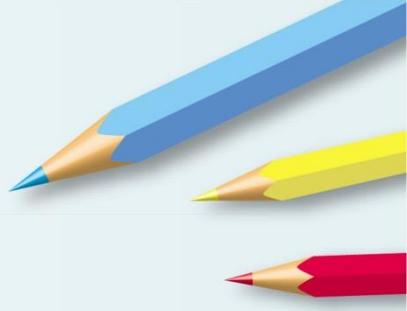
## 非日常的な体験ができる

メタバース内では現実世界に近い交流や活動ができる一方で、バーチャルであることを活かして現実の法則に縛られない非日常的な体験をすることももちろん可能。

例えば空を飛んで街を見下ろしたり、高速で移動したり、巨大化してみたりなど、現実世界では不可能なあらゆることを実現することができる。



# メタバースの特徴



NFTの土地やアイテムなどを売買できる

これまでのメタバース内のアイテムは、コピーが容易にできてしまったり、サービスが終了してしまえば手元に残らなかつたりといくつかのデメリットがあった。

しかしブロックチェーン技術を用いたメタバースでは、土地やアイテムなどの多くがNFTとなっており、それぞれがコピーできない唯一性を有している。



# NFTによって可能になったこと

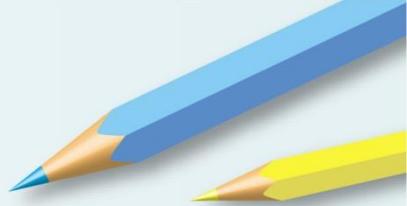


これまでのメタバース内のアイテムはゲーム内通貨で取引されていたが、NFTは仮想通貨や法定通貨で取引される。NFTを使うことによって以下のことことが可能になった。

- ・ コピーができず台帳もあるので、アイテムなどの所有権を明確に示すことができる
- ・ 基盤のブロックチェーンが稼働する限りは、半永久的に存在できる
- ・ メタバース内でNFTの売買ができる
- ・ メタバース外にNFTを持ち出して、NFTマーケットプレイスで売買できる

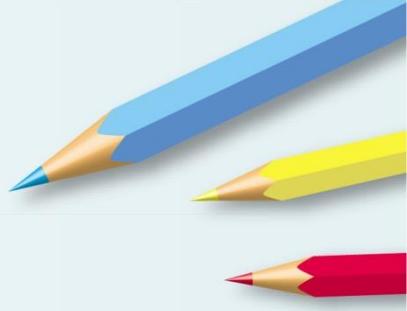


# 現在利用可能なメタバース



ゲーム名 プラットフォーム名	基盤のブロックチェーン	ネイティブトークン (時価総額ランク)
The Sandbox	イーサリアム	SAND (132位)
Decentraland (ディセントラランド)	イーサリアム	MANA (100位)
EnjinCraft	Enjin	EnjinCoin (82位)
AxielInfinity (アクシー・インフィニティ)	Ronin (イーサリアムのサイドチェーン)	AXS (51位) SLP (308位)

×モ



# プログラミング教室の テクノロ



なまえ：